

～春が近づいてきています～

段々と日が長くなり温かい日も増え、春らしくなってきました。雪解けが進むと外に出たい気持ちになってきて「そろそろ農家も忙しくなる頃だね。」とやっぱり皆さん農作業のことが気になってくるようです。

3月13日からはマスク着用が個人の判断になるなど、徐々に5月の5類移行に向けて制限が緩和されていく流れになっています(医療機関・高齢者施設は引き続きこれまで同様の感染対策が求められています)。当施設としまして、5類移行に向けて、世の中の流れとこの度のクラスターの反省を踏まえながら、対策を講じていきたいと思っています。その中で、なんとか入居者様・ご家族の皆様の要望に少しずつでも応えていけたらなと思います。

3月の行事予定

※ 3月の行事も2月同様中止と致します。誕生会等のユニット行事は行いたいと考えております。

3月の誕生者のご紹介



皆さん誕生日おめでとうございます。



大正10年3月19日生まれ

102歳 ゆりユニット

昭和10年3月26日生まれ

88歳 ひまわりユニット

昭和13年3月30日生まれ

85歳 さくらユニット

「紙面の写真・氏名についてはご本人(代理人)の方の同意を得て掲載しています」

(電話番号) 0135-71-2580 (メールアドレス) info@minorinosato.net

(ホームページ) <http://minorinosato.net>

(苦情・相談窓口担当者) 生活相談員 寺田 翔

～ユニットの様子～

感染対策により、各ユニット内で過ごす時間が多くなってしまいましたが、トランプをしたり、脳トレや軽運動をしたりして、制限のある中でも楽しんで生活していました。今は施設内では自由に行き来できるようになり、日常が戻ってきています。



～クラスタの終息について(ご報告)～

1月26日から発生した当施設の新型コロナウイルス集団感染(クラスタ)は、当初はさくらユニット内のみの感染でしたが、2月に入ると隣のゆりユニットにも感染が広がってしまい、最終的には入居者15名、職員4名の計19名の感染者となっていました。

2月8日以降は新たな感染者の発生はなく、2月17日に感染された入居者様及び職員の健康観察期間を終了し、クラスタを終息することができました。

感染が判明した当初から、保健所の指導の下、レッドゾーン対応や感染防護具の使用及び介助の都度の交換、対応職員の固定など、感染拡大を防止すべく対策にあたりましたが、感染力の強さをまざまざと見せつけられた形となっていました。

入居者様及びご家族の皆様には大変なご心配をおかけいたしました。諸般の事情をご理解いただき、温かいお言葉を沢山いただきました。ご支援ご協力に感謝申し上げますとともに心からお詫び申し上げます。

この度のクラスタ対応では、看護職員の手が不足し、北海道の支援事業により、倶知安厚生病院の感染管理認定看護師の方に支援していただきました。その際に当施設が行っている感染対策を見ていただき、不足しているところ、また過剰にやりすぎていたところなどを指摘・指導していただきました。さらにクラスタ終息後には3回に渡り、研修会を開いていただき、感染対策の見直しを図りました。

今後も所管保健所等から指導をいただきながら、入居者様ご家族の皆様の安心・安全を最優先に、職員一同、より一層の感染対策に努めてまいります。